

# 大名みえ子です

2015.7.10 No.288  
東海村村松 2401-2  
電話・fax 029-284-0761

## 歴史と未来の交流館(仮称)構想

に反映のため文教厚生委員会が先進地視察… 一端をご報告します

- ☆福井県立こども歴史文化館(福井市)
- ★兵庫県立考古博物館(播磨町)
- ☆石神井公園ふるさと文化館(練馬区石神井町)



七夕飾り作りに立ち寄った児童

7月1日

### 兵庫県立 考古博物館

博物館の設立のねらいは、「ネットワーク」「参加体験」「変化・成長」をキーワードに、県内の遺跡から出土した考古資料を活用した様々な事業を県内全域で展開し、誰もが、いつでも、どこでも博物館の活動に主役として参加できる、参加体験型の新しい博物館とすること。



博物館には、数多くのボランティアが参加し、子どもたちが自然に立ち寄っていました。ここでは、バックヤードスペースが公開されており、博物館の裏方の仕事の大切さも知ることができます。本村でもぜひ取り入れてほしいと思いました。展示では、本村では発掘し得ないと思われる人骨などもあり、まちの歴史の違いを知りました。今回3つの施設を視察しましたが、職員の手づくりによるゲーム感覚で学べる工夫、施設運営に多くの住民が参加できるシステム、バックヤードの公開など貴重な取り組みを学びました。

東海村がめざす(仮称)

### 歴史と未来の交流館とは？

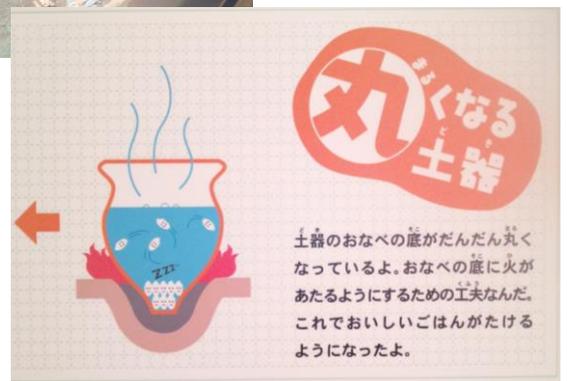
構想が完成しているわけではありませんが、基本的な考え方としては、本村の歴史や文化財を「伝承・資料収集・保存・展示」などにより、次世代につなげる施設としています。

多くの住民が東海村の貴重な歴史的財産や文化財等に触れることができ、子ども達が文化財等を身近に感じながら様々な体験活動ができる、また世代間の交流活動にも配慮したスペースとして、子どもから高齢者までが利用する施設の整備をすすめたいとのことです。

文教厚生委員会が調査してきた福井・兵庫・練馬区の施設の良さを取り入れることができればと、文教厚生委員会では、提案を纏めることにしています。



展示が様々に。子どもたちの体験・学びが豊富に用意されていました。



土器のおなべの底がだんだん丸くなっているよ。おなべの底に火があたるようにするための工夫なんだ。これでおいしいごはんがたけるようになったよ。